

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の 準備状況について

1 各競技会場の選定について

(1) 国スポ正式競技

現在、会場地が内定していない6競技(水泳、自転車、馬術、ライフル射撃、ラグビーフットボール、ボウリング)、平成30年6月に日本スポーツ協会国民体育大会委員会で追加開催が決定された3種目等(オープンウォータースイミング、ビーチバレーボール、トランポリン)について、平成30年度中に調整を行う。

また、内定済みの競技について、中央競技団体正規視察を順次実施。

(2) 国スポ公開競技、全国障害者スポーツ大会正式競技

国スポ公開競技7競技、全国障害者スポーツ大会14競技について、平成30年度中に調整を行う。

2 国スポ開催に向けた施設整備について

県立スポーツ施設については、2014年度に実施した「県立社会体育施設の最適な管理についての調査研究」の結果を踏まえつつ、2024年開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会での活用はもとより、本県のスポーツ振興や県民の健康づくりに資するよう、各施設の整備を進めていくこととする。

(1) (仮称)彦根総合運動公園

(仮称)彦根総合運動公園は、両大会の主会場はもとより、将来のスポーツ振興やスポーツを通じた健康増進、地域の活性化のための施設として整備を進めており、今後も2023年度国スポ等リハーサル大会を目指して着実に整備を進めていく。

特に、難航している用地取得について、地権者の皆様のご理解を早期に得られるよう、彦根市と緊密に連携して取り組む。

【事業費】

約200億円：

(第1種陸上競技場：約106億円、その他公園整備費、用地補償等：約94億円)

【用地取得の状況(個人地権者の所有する土地)】

区分	取得済み	合計
地権者数	41人	49人
筆数	78筆	110筆
取得面積	約4.6ha	約6.1ha

【主な施設概要】

区分	概要
第1種陸上競技場	収容人員:15,000人以上 構造:鉄筋コンクリート造5階建て トラック:400m×9レーン フィールド:106m×69m
第3種陸上競技場	管理棟 トラック:400m×8レーン
庭球場	12面、夜間照明灯設置
野球場	(存置)
エントランス広場・緑の広場	休憩所、便所、植栽など
駐車場	約1,100台
駐輪場	約380台

(2) 新県立体育館

両大会の開催を契機として、スポーツ・健康づくりの拠点整備を目指し、老朽化が進み、施設が狭隘となっている現体育館（ウカルちゃんアリーナ）を、びわこ文化公園都市内に移設整備する。また、整備・運営にあたっては、県民サービスの向上や財政支出の軽減・平準化など高い効果が期待できるPFI方式による事業実施に向け取組を進める。

現在、PFI方式による事業実施に向けた特定事業の選定の手続きを進めており、本年2月に公表した業務要求水準書（案）に県内経済への配慮や県産材の使用等に関して盛り込んでいるところ。

なお、用地造成に関しては、県が工事を実施することとしており設計等に取り組んでいる。

【事業費（新県立体育館施設整備基本計画（平成29年3月））】

整備費：約90億円 ※事業費の精査を行い94億円から削減

（建設工事費：約75.7億円、基盤造成費：約12.8億円、用地取得等：約1.8億円）

維持管理運営費：約2.2億円/年

【施設概要】

区分	概要
メインアリーナ	面積 2,760㎡ (69m×40m) 以上、高さ 14m 以上 総観客席数 5,000 席以上 (1階観客席 2,500 席以上 : 電動式の壁収納型可動席 1,600 席以上+椅子による仮設席) (2階観客席 2,500 席以上)
サブアリーナ	面積 1,161㎡ (27m×43m) 以上、高さ 12m 以上 観客席 200 席以上
スポーツ活動諸室	多目的室、トレーニング室、スポーツ・体力測定室
その他諸室	事務室(施設管理室)、応接室(来賓室)、医務室、放送・音響・調光室、キッズルーム・授乳室、競技団体交流室、レストラン・カフェ等
共用部を含む上記面積の合計：13,500㎡程度	
駐車場	・駐車場：常設駐車場・臨時駐車場合わせて900台以上 ・駐輪場：200台以上

区分	概要
多目的広場	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に運動やトレーニングができ、多様なイベントへの対応、防災面でも活用できる多目的広場。 ・イベント開催時は臨時駐車場としても利用。

(3) その他県立施設

①琵琶湖漕艇場

琵琶湖漕艇場は、本県のボート競技およびカヌー競技活動の中心施設として重要な役割を果たしてきた一方、施設開設後 47 年が経過し、管理棟や艇庫をはじめとする施設の老朽化、コース利用における安全対策などの様々な課題が顕在化している。

このため、利用者の利便性・安全性の向上や競技会場としての機能強化を図るべく、管理棟・艇庫の改築およびコース改修を実施する。

【事業費】

整備費：約 10 億円

(改築費：約 7.2 億円、コース改修費：約 2.3 億円、設計費等：約 0.5 億円)

【整備概要】

区分	概要
管理棟・艇庫改築	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨造 2 階建て（一部 3 階建て）、延床面積 1,300 m²程度 ・エレベーター、トレーニング室設置 ・艇庫拡大 (403.2 m² → 600 m²程度) ・艇庫前部分のデッキ改修
コース	<ul style="list-style-type: none"> ・コース全体を北へ移設 ・消波対策を実施

②伊吹運動場

オリンピック事前合宿、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西大会および国民スポーツ大会において、ホッケー競技会場として活用することから、老朽化が進んでいる人工芝の張替や散水・照明設備の改修を実施する。

【事業費】

整備費：約 4 億円

(工事費：約 3.7 億円、設計費：約 0.1 億円)

③長浜バイオ大学ドーム

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西大会においてホッケー競技会場として、また、国民スポーツ大会の競技会場として活用することから、老朽化が進んでいる人工芝の張替を実施する。

【事業費】

整備費：約 2 億円 (工事費：約 1.7 億円、設計費：約 0.1 億円)

※その他実施済事業 (電光表示設備改修工事、北側出入口新設工事等)：約 2 億円

(4) 草津市・プール

(仮称)彦根総合運動公園の整備に伴い廃止される県立スイミングセンターの代替となるプールの整備については、施設運営や財政負担の観点から、市町との連携により施設を整備するという方針のもと、新たに市立プールを整備する草津市に対して、財政支援を行うこととした。

現在は、草津市とともに、基本計画の策定を行っており、本県の水泳競技の活動拠点や県立スイミングセンターの代替となる施設として、また、2023年度国スポ等リハーサル大会を目指して着実に整備を進めていく。

【事業費】

約 99.9 億円：

(建築費：89.9 億円、その他造成、備品購入等：10 億円)

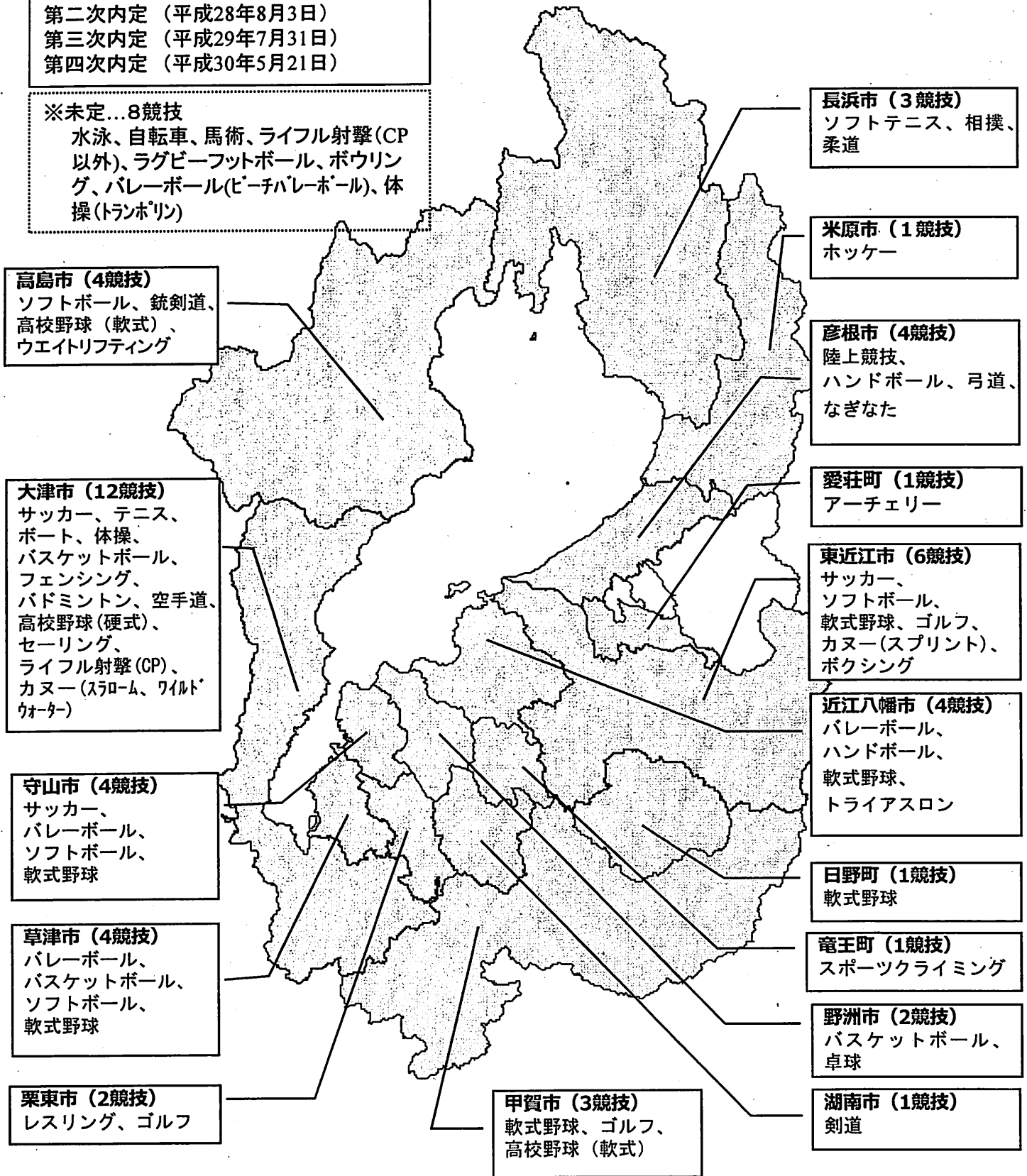
【施設概要】

区分	概要
プール施設	50m 室内温水プール、飛込兼用 25m 室内温水プール 観客席：2,500 席（仮設席含む） 選手控室、器具庫等
付属施設	更衣室、トイレ、トレーニングルーム等
管理・共用施設	事務室、休憩室、応接室、中央監視室等

会場地市町内定(第一次~第四次)配置図

主会場決定 (平成26年5月26日)
 第一次内定 (平成27年8月31日)
 第二次内定 (平成28年8月3日)
 第三次内定 (平成29年7月31日)
 第四次内定 (平成30年5月21日)

※未定...8競技
 水泳、自転車、馬術、ライフル射撃(CP以外)、ラグビーフットボール、ボウリング、バレーボール(ビーチバレーボール)、体操(トランポリン)



長浜市 (3競技)
 ソフトテニス、相撲、柔道

米原市 (1競技)
 ホッケー

彦根市 (4競技)
 陸上競技、ハンドボール、弓道、なぎなた

愛荘町 (1競技)
 アーチェリー

東近江市 (6競技)
 サッカー、ソフトボール、軟式野球、ゴルフ、カヌー(スプリント)、ボクシング

近江八幡市 (4競技)
 バレーボール、ハンドボール、軟式野球、トライアスロン

日野町 (1競技)
 軟式野球

竜王町 (1競技)
 スポーツライミング

野洲市 (2競技)
 バスケットボール、卓球

湖南市 (1競技)
 剣道

高島市 (4競技)
 ソフトボール、銃剣道、高校野球(軟式)、ウエイトリフティング

大津市 (12競技)
 サッカー、テニス、ボート、体操、バスケットボール、フェンシング、バドミントン、空手道、高校野球(硬式)、セーリング、ライフル射撃(CP)、カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)

守山市 (4競技)
 サッカー、バレーボール、ソフトボール、軟式野球

草津市 (4競技)
 バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、軟式野球

栗東市 (2競技)
 レスリング、ゴルフ

甲賀市 (3競技)
 軟式野球、ゴルフ、高校野球(軟式)

国スポ開催に向けた施設整備について

施設名	総事業費 または補助総額	完成予定	スケジュール	(7年前)	(6年前)	(5年前)	(4年前)	(3年前)	(2年前)	(1年前)
				平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	平成31年度(2019) 【開催内定】	2020年度 (東京オリパラ)	2021年度 【開催決定】 (WMG)	2022年度	2023年度
(1) (仮称)彦根総合運動公園	約200億円	2023.3 (庭球場は 2026.3)	スケジュール	用地買収 公園整備実施設計	既存施設解体	公園等整備(基盤工事・地盤対策工事第3種陸上競技場、緑の広場、交流広場、第1種陸上競技場外構など)	第1種陸上競技場建築施工			
(2) 新県立体育館	約90億円	2022.9	スケジュール (造成) スケジュール (PFI)		設計		工事			
(3) その他県立施設					要求水準書等	PFI事業者選定	設計・工事			
① 琵琶湖漕艇場 ・管理棟、庭庫改築 ・コース改修	約10億円	2020.5	スケジュール	基本計画	設計	工事		2021.5 ワールドマスターズ		
② 伊吹運動場 ・人工芝張替 ・散水設備改修 ・照明設備改修	約4億円	2019.6	スケジュール		設計	工事	2019.8 全国中学校 選手権	2020 東京五輪・事前合宿	2021.5 ワールドマスターズ	
③ 長浜バイオ大学ドーム ・電光表示設備改修 ・北側出入口新設 ・正面広場改修 ・人工芝張替	約4億円	2020.2	スケジュール	設計・工事 (電光表示設備改修 (北側出入口新設 (正面広場改修)	設計 (人工芝張替)	工事 (人工芝張替)		2021.5 ワールドマスターズ		
市町が整備する施設(現時点で判明しているもの)										
(4) 草津市・プール	約65億円 (PFI方式による 事業費として 約95億円を想定) ※従来方式による 事業費として、 99.9億円を想定	2023.8	スケジュール (PFI)	基本計画		PFI事業者選定に向けた手続き等		設計・工事		
市町競技施設整備費補助金	19億円 ※現時点で想定し ている右記以外の 市町が整備する国 体競技施設への支 援を含め19億円を 想定。	—	スケジュール		草津市・野村公園体育館(建替)	中央競技団体正規視察	長浜市・北部地域総合体育館(増築)	米原市・伊吹第1グラウンド(人工芝生化)	彦根市・彦根市新市民体育センター(建替)	東近江市・能登川スポーツセンター(建替)

2023年度 国スポリハーサル大会開催

2024年度

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催事業費(概算)

財政収支見通しの再試算(H30.8)における事業費

1 施設整備経費

【県立施設】

項目	事業費	備考
(仮称)彦根総合運動公園	約 200 億円	開閉会式・陸上競技会場 公園整備基本設計時の試算額
第1種陸上競技場	106 億円	
その他	94 億円	
新県立体育館	約 90 億円	体操、バスケットボール、バドミントン会場 基本計画から、造成見直し△1億円、施設規模見直し等△3億円
長浜バイオ大学ドーム	約 4 億円	相撲会場 人工芝張替え、電光表示設備改修等
県立体育館(ウカルちゃんアリーナ)	約 6 億円	空手道、フェンシング会場 解体経費等
琵琶湖漕艇場	約 10 億円	ボート会場 管理棟・艇庫改築、コース改修
伊吹運動場	約 4 億円	ホッケー会場 人工芝張替え、照明施設改修
合計	約 314 億円	

【県・市共同整備施設】

項目	事業費	備考
プール	約 65 億円	PFIIによる整備費95億円に係る草津市への財政支援額

【市町立施設】

項目	事業費	備考
会場施設整備補助	約 19 億円	市町会場整備、正規視察指摘対応等
施設整備経費計	約 398 億円	

2 開催経費

項目	事業費	備考
開閉会式、市町競技運営補助等	約 67 億円	先催県平均額(うち全スポ15億円)
人員体制整備	14 億円	100人程度
計	81 億円	

3 競技力向上対策費

項目	事業費	備考
選手強化、指導者養成、競技環境整備等	約 32 億円	先催県平均額 見直し額△1億円
総計	約 511 億円	